

教育コミュニティづくり通信

令和3年12月17日

令和3年12月17日、大阪府立難波支援学校で実施した「PTAクリスマス会」を訪問しました。この活動は、PTA 保健体育委員会が中心となって、小学部 32 名を対象に実施した取組みです。

PTA からお話と説明

新型コロナウイルス感染症対策として、小学部 32 名を 2 学年ごと 3 つ（3・4 年、2・5 年、1・6 年）に分けて実施しました。



PTA の方から「手洗い・うがいなど大変なことがあると思うけど、がんばりましょう」というお話がありました。

その後クリスマス会の流れが説明されると児童はとてもうれしそうな様子でした。

みんなが楽しめるゲーム

説明の後は、児童が楽しみにしていたゲームの時間です。PTA の方が用意してくださった 2 種類（ミニバスケット・しゃてき）のゲームを行いました。

『ミニバスケット』ではうまく投げられない時も、PTA の方々の「うまいやん」「次は入るよ」といった優しい声かけを励みに、がんばって投げ、ネットに玉が入ると、「イエーイ」とガッツポーズをしていました。



『しゃてき』では、輪ゴム鉄砲で的を倒します。思った場所に輪ゴムが飛ばずに苦労していましたが、的を倒すと嬉しそうな笑顔になっていました。ここでも PTA の方々がほめる言葉をかける様子が見られ、多くの大人が協力して児童を見守り、育てていることが伝わってきました。



なんばワンくんとのお話

ゲームで楽しんだ後は、難波支援学校のマスコットキャラクター『なんばワンくん』との記念撮影です。なんばワンくんに抱きついたり、ハイタッチをするなど、児童みんなにとても親しまれたキャラクターで、なんばワンくんとのお話撮影に児童はとてもうれしそうな様子でした。



プレゼントとお話

次にクリスマスプレゼントがありました。代表の児童がプレゼントをもらおうと、みんなの拍手の中、とてもうれしそうにしていました。

最後は校長先生のお話です。全員で「ナンバーワン！」という合言葉と笑顔で終わりました。

